

# 鯖江市議会報

第257号

令和8年  
5月25日発行

鯖江市議会を  
もっと詳しく!



【今号の表紙】 HINAKO さん提供 『西山公園 娘と散歩』

**CHECK!** 「市民と議員のおしゃべり会」  
7月に開催します!

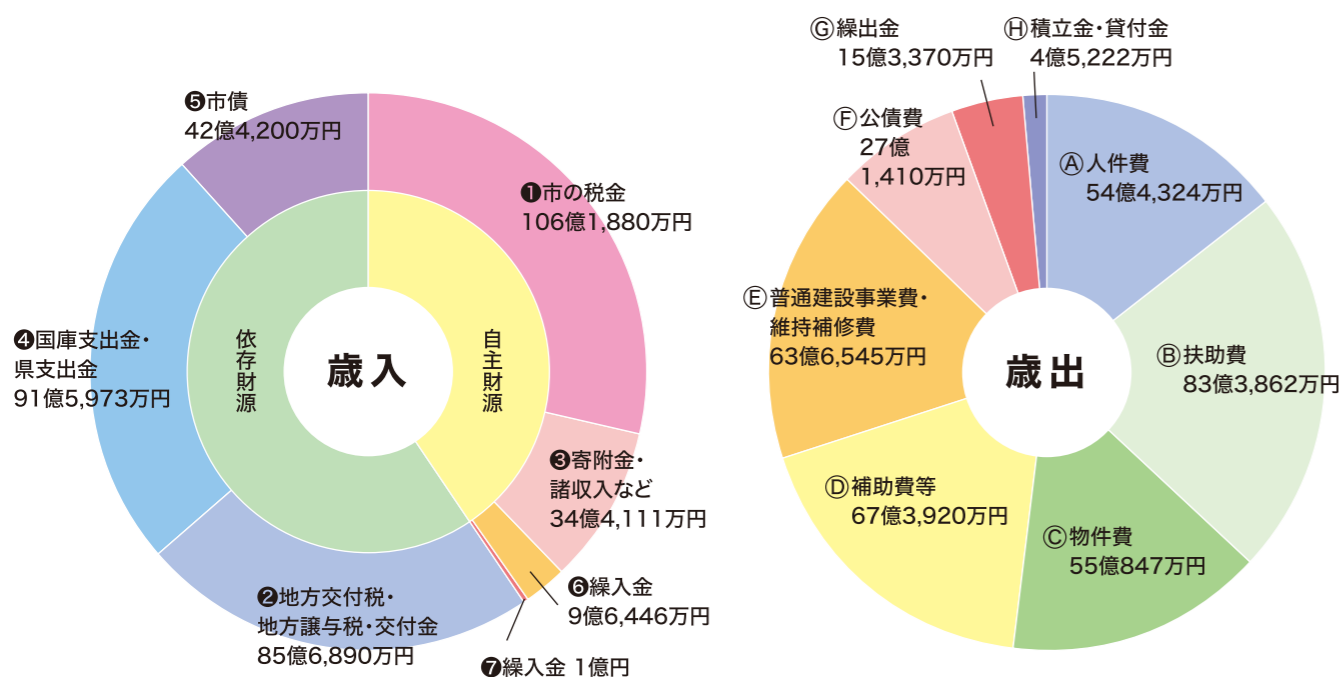
⇒ 詳細は19ページ

■第455回3月定例会	2
■請願・陳情の審査	12
■ここが聞きたい! 一般質問	13
■議案と議決結果	18



3月定例会では、市提出議案23件を可決し、人事案件2件に同意。  
議員提出議案1件を可決、1件を否決したほか、陳情1件を審査しました。

令和8年度一般会計予算 … 370億9,500万円(前年度比8.2%増)



鯖江さん家の年間家計簿

一般家庭の家計簿に例えてみました。

<年間世帯収入 500万円>

①給料(基本給)	143万円
市の税金	
②給料(諸手当)	116万円
地方交付税・地方譲与税・交付金	
③副業収入	46万円
寄附金・諸収入など	
④家族からの援助	124万円
国庫支出金・県支出金	
⑤ローン(借入金)	57万円
市債	
⑥⑦貯金の切り崩し	14万円
繰入金・繰越金	

<年間世帯支出 500万円>

①食費	73万円
人件費	
②医療費・介護費など	112万円
扶助費	
③光熱水費・日用品など	74万円
物件費	
④町内会費・税金など	91万円
補助費等	
⑤家の改修・車の修理代など	86万円
普通建設事業費・維持補修費	
⑥ローンの返済	37万円
公債費	
⑦子どもへの仕送り	21万円
繰出金	
⑧貯金・その他	6万円
積立金・貸付金	

※年間世帯収入を500万円として計算し、端数処理しました。

鯖江市予算案の一部

複合交流施設整備

12億2,739万円



嚮陽会館を改修し、子どもの遊び場や交流機能を備えた多世代が集う市民交流拠点として再整備する。

学校給食支援事業

2億8,696万8千円



小学校の給食費を完全無償化し、中学校は保護者負担を据え置くことで、子育て世帯の経済的負担を軽減。

めがねのまちさばえ 未来ビジネスチャレンジ事業

302万円



市内企業・創業予定者の新たな挑戦をビジネスコンテスト形式で支援し、新産業創出を促進。

書かない窓口事業

842万8千円



証明書発行やマイナンバーカード手続まで対象を拡大し、記入負担を減らす窓口サービス。

AI×衛星で漏水ゼロ戦略事業

730万円



衛星画像とAI解析を活用し、水道管の漏水リスクを可視化することで効率的な管理を実現。

小中学生プログラミングフェス開催事業

100万円



県内外の小中学生を対象にプログラミングフェスを開催し、IT人材育成と交流促進を図る。

ぐるっとSABAE シェアサイクル実証事業

1,220万円



駅や観光拠点を結ぶ移動手段として、シェアサイクルの有効性を検証する。

「めがねのまちさばえ」ファン創出事業

1,320万円



ものづくり・子育て施策など鯖江の強みを全国へ発信し、関係人口の拡大や移住・定住促進につなげる。

ごみ発電による公共施設 エコ電力活用事業

1,129万4千円



新ごみ処理施設で発電した電力を公共施設で活用し、脱炭素とエネルギーの地産地消を進める。

乳児等通園支援事業 (通称:誰でも通園制度)

249万6千円



就労要件に関係なく、未就園の乳幼児が一定時間保育所等を利用できるようにする。

その他の主な議案

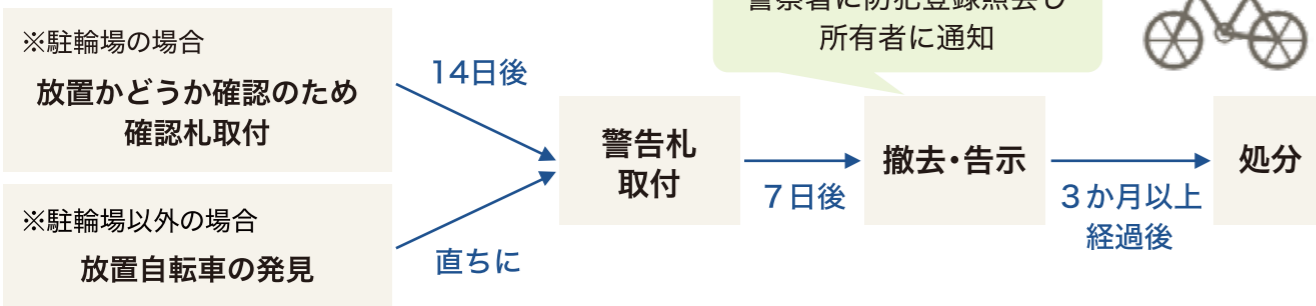
■ 議案第15号 鯖江市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について

令和8年度から国が本格実施する「乳児等通園支援事業」に併せ、事業を安全・公平に運営するための新たな条例を制定する。条例では、利用開始時の面談や重要事項の説明、記録の作成、事故時の対応、苦情相談窓口の設置などを定め、利用者である子どもと保護者を守る仕組みを明確にし、市の責任の下、安心して利用できる体制を整える。令和8年4月事業開始。

■ 議案第16号 鯖江市自転車等の放置防止に関する条例の制定について

交通の円滑化と良好な都市景観の維持を図り、安心して暮らせる生活環境の確保を目的として、自転車等の放置を防止する条例を制定する。条例では、市や利用者、鉄道事業者それぞれの責務を明確にし、警告から撤去・保管までの手順を定めることで、迅速かつ適切な対応を可能にする。

放置自転車対応フロー



議案へのQ&A



議案第3号 令和8年度鯖江市一般会計予算

《バス・タクシー運転士確保支援事業について》

Q 令和7年度の実績は？

将来的に就業を検討する人を対象に、企業説明会への参加を条件として二種免許取得者に1人3万円を補助する事業を実施したが、利用実績はなかった。

Q 令和7年度との違いは？

令和7年度は関心喚起型の事業であったが、新年度は県制度の終了を見据え、市内交通事業者へ就職した人を対象に、二種免許取得費用を補助する就職直結型の制度へ拡充する。

《バス・タクシー未来の担い手育成事業について》

Q どのような内容？

市内小学生とその保護者を対象に、3つの体験イベントを想定している。

- ① つつじバスの洗車体験
- ② バスの運転席の見学・ドアの開閉体験
- ③ 保護者運転・家族同乗のタクシー体験

《ぐるっとSABAEシェアサイクル実証事業について》

Q 事業内容は？実証事業とする理由は？

電動アシスト自転車約40台を導入し、市内23か所で利用できるシェアサイクルを実証導入する。需要や費用対効果を見極めるために実証事業とし、利用実績や回遊性向上の効果を検証した上で、本格導入を検討する。

■ 市会案第2号（議案第3号）令和8年度鯖江市一般会計予算に対する修正案

提出者：石川 修 議員、東井 忠義 議員、田中 良幸 議員

《提案理由》

嚮陽会館複合交流施設整備費は、本市初の複合化事業であるにもかかわらず、改修を前提に進められ、新築や移設など他の選択肢との十分な比較検討がなされていない。加えて、屋上整備など必要性の根拠が乏しく、削減可能な経費が残されているほか、将来的な事業費増大も懸念される。また、地元からはいまだ十分な理解が得られていない状況である。

以上のことから、将来を見据えた慎重な判断を行うため、複合交流施設整備費および債務負担行為を一旦全額減額・削除する修正を求める。

賛成討論

（田中議員）新たな補助制度や新築案が示されたにもかかわらず、十分な比較検討が行われぬまま進んだ点は問題。巨額事業である以上、熟議の時間を確保すべき。

（大門議員）事業費の変動幅が大きく、国際情勢によるリスクも高いため、工事費を当初予算から切り離すべき。将来世代への負担を懸念し、修正案に賛成。

（東井議員）屋上整備への市民の強い反対意見や、事業費の急増が問題。費用対効果を再検証すべき。

（木村議員）屋上整備の必要性や事業費への市民不安を重く受け止め、一旦修正し再検討すべき。



反対討論

（帰山議員）嚮陽会館整備は、計画・設計を重ね、市民意見も反映しながら進めてきた事業である。事業費は高額だが、先送りは物価高騰によりさらなる増額を招くおそれがあり、現段階で進める判断は妥当である。

（福原議員）全議員参加の特別委員会で約2年にわたり協議を重ねてきた事業であり、現時点で決断が必要。国際情勢や物価高騰を踏まえ、先送りはリスクが高いため予算を進めるべき。

（西野議員）事業は拙速ではなく、市民参加と議論を積み重ねてきた。老朽化対策は不可避であり、先延ばしは維持費増大につながる。

（堀川議員）市民や議会の要望を反映し、にぎわい創出の核となる整備であると評価する。将来のまちづくりの拠点として必要な投資。

（酒井議員）事業費の大きさに葛藤はあるが、市長の覚悟と持続可能な財政運営の考えを確認し、将来を見据えて原案に賛成。

市会案第2号および議案第3号の議決結果

議案	三村 尚司	田中 良幸	加藤 優	土田 光	堀川 秀樹	西野 有香	東井 忠義	酒井友季子	林下 豊彦	江端 一高	大門 嘉和	空 美英	福原 敏弘	佐々木 一弥	遠藤 隆	帰山 明朗	石川 修	木村 愛子	玉邑 哲雄	議決結果
市会案第2号	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○	欠	×	-	×	×	○	○	×	否決
議案第3号	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	欠	○	-	○	○	×	○	○	可決

※佐々木議長は採決に加わっていません。 ○=賛成 ×=反対

議案に関する委員会審議

各委員会では、委員会に付託された議案を審議しました。



総務委員会

【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算

ふるさと納税の実質的な財政効果について

問 令和8年度は、ふるさと納税寄附金を22億円見込んでいるが、市民が他自治体へ寄附することによる市民税の流出額や返礼品等の経費を差し引いた後、市が一般財源として活用できる額は。

答 令和6年度の実績で試算すると、ふるさと納税額約20億6,600万円から、市民税の流出額約1億7,000万円を差し引き、さらに流出額に対する75%の交付税措置および返礼品等に要する経費を勘案した結果、市が一般財源として活用できる額は、おおよそ10億円である。

【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算（A Iごみ分別導入事業 298万1千円）

A Iを活用したごみ分別支援の取組について

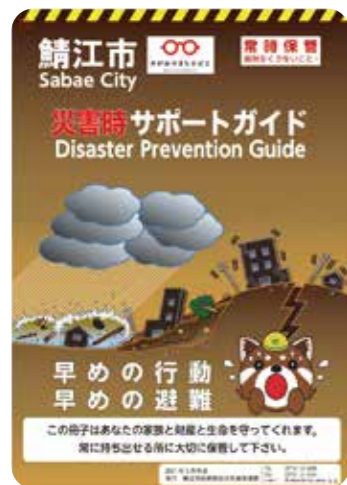
問 市民がスマートフォンで撮影したごみの画像からA Iが分別区分を判別する仕組みを構築することだが、無料のごみ分別アプリも存在する中で、なぜ予算を計上して実施するのか。

答 普及している無料アプリは、鯖江市独自の分別区分に対応していない場合があり、誤った判定が行われることがある。この事業では、鯖江市の分別区分を詳しく示した50音順分別表に即して、迅速に判定できるウェブアプリの仕組みを構築し、市民が正確に分別できるよう支援する。

意見 本事業は、市民の適正な分別や職員の問い合わせ対応時間の縮減につながると評価できる。一方で、ごみ排出量の削減に直結するものではないため、再利用によってごみを減らす方法など、排出抑制につながる周知の仕組みも併せて検討すべきである。

【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算（災害時サポートガイドブック作成事業 1,550万円）

家庭で生かされる災害時サポートガイドブックへ



問 地域防災計画の改定などを踏まえ、災害時サポートガイドブックを最新の情報に更新することだが、これまで作成した冊子が、各家庭でどのように保存・活用されているか調査・検証したことはあるのか。また、ガイドブックの内容についての市民の理解度をどう捉えているのか。

答 各家庭でのガイドブックの活用状況や内容の浸透については、現時点では数値的に把握できておらず、今後の課題と認識している。今回の更新では、市の若手職員の提案を取り入れ、自宅の位置や通学路上の危険箇所などを分かりやすく示せるシールを添付する。これにより、家庭内で防災について話し合う機会が増え、防災意識の向上につながることを期待している。

【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算（甲府×鯖江「つくる」プロジェクト 1,664万3千円）

甲府市との連携による地方創生の取組

問 地方創生の新たなロールモデルの構築を掲げているが、今後の具体的な進め方は。

答 この取組は、鯖江市と甲府市の共通の強みである「ものづくり」を基盤に、人材不足や担い手不足、商品開発などの共通課題を、相互に協力しながら解決していくものである。甲府市は首都圏に位置し発信力が高く、連携の動きが報道等でも取り上げられるなど、すでに大きなPR効果が生まれている。さらに、越前漆器と甲府ワイン、鯖江の眼鏡と甲府の宝石など、両市の特産品を掛け合わせることで、単独で発信する以上の相乗効果が期待でき、より高いPR効果が見込まれる。事業の柱として、職員間の人材交流、企業同士のマッチング、ふるさと納税返礼品の連携、協働による動物園の魅力発信など、多面的な取組を展開する。加えて、鯖江市が相対的に弱いとされる「食」の分野については、甲府市の強みを生かして補完するなど、互いの弱みを補い合う形で地方創生を進める。国の地域未来交付金を活用し3年計画で推進し、将来的には他自治体との広域連携へ発展させ、ものづくりを核とした新たな地方創生のロールモデルを全国に展開していきたい。

意見 鯖江の眼鏡産業は分業制による高度な技術を有しており、その技術は甲府のジュエリー産業にも応用できる可能性がある。企業間のマッチングを積極的に支援することで、両市の技術を守り、生かす取組につなげてほしい。



産業建設委員会

【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算（農作物被害対策事業費 715万3千円）

農作物被害防止に向けた鳥獣対策の強化

説明 農作物被害の発生状況調査や、電気柵・ネット柵の新設および更新への補助、緩衝帯の維持管理、サルの追い払い活動支援、鳥獣被害対策実施隊の出動に係る報償金などを計上している。

このうち431万6,000円は、県事業を活用した獣害防止柵設置支援補助で、令和8年度からは市の補助率を引き上げ、地元負担率を6分の1まで軽減する。令和8年度は、ネット柵の更新2集落、電気柵の更新3集落、新設1集落を予定している。

問 予算額が増加している理由は、補助率引上げによるものか、それとも補助対象件数の増加によるものか。また、地元負担率を6分の1まで引き下げるための財源は。



答 近年はイノシシに代わり、シカによる被害が増加している。シカ対策の防護柵は高さが必要で、特に電気柵は設置費用が高額となる。このため、対策強化として補助率を引き上げたことが、予算増額の主な要因である。財源については、鳥獣被害防止対策が国の特別交付税措置の対象となることから、これを活用し、市の実質的な負担を抑えながら事業を進めていく考えである。

### 議案に関する委員会審議

各委員会では、委員会に付託された議案を審議しました。



【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算（市営駐車場満空システム整備事業 215万2千円）

### 市営駐車場の利便性向上に向けた満空システム整備

**説明** 嚮陽会館前駐車場や鯖江駅周辺駐車場の利便性向上と周辺道路の渋滞緩和を目的に、駐車場の満空状況を確認できるシステムを整備する。嚮陽会館前、ふれあい広場、鯖江駅前・東（第1～3）、文化センター前の7か所の市営駐車場について、市ホームページ上で満車・空車の状況および空き台数を表示する。また、嚮陽会館前駐車場周辺道路のライブ映像を配信し、スマートフォン等から事前に混雑状況を確認できるようにする。

**問** 満空システムの稼働時期はいつ頃を想定しているのか。また、県内に先進事例はあるのか。

**答** 4月中旬に発注手続や関係機関との調整、カメラなどの機器設置、市ホームページへの掲載準備を進め、ゴールデンウィーク前の運用開始を目指している。県内では敦賀市に駐車場の混雑状況をホームページ上で公開している事例があるが、空き台数まで表示する取組は鯖江市が初めてであり、先進的な取組となる。

【議案第7号】令和8年度鯖江市水道事業会計予算（A I × 衛星で漏水ゼロ戦略事業 730万円）

### A I × 衛星による漏水対策の高度化

**説明** 衛星画像や土壌情報、管路情報などの各種データを組み合わせ、A I を活用して漏水発生リスクを可視化する。分析結果を基に、漏水調査計画や老朽管更新計画の基礎資料を作成し、漏水調査に要する時間や費用の削減と、効率的・計画的な管路更新につなげる。

**問** 事業を具体的にどのように進めていくのか。A I による分析結果を踏まえて、どのような対応を行うのか。

**答** 令和8年度は、A I により漏水リスクの評価を実施し、その結果を基に次年度以降の漏水調査計画を策定する。漏水リスクが高いと判断された箇所から優先的に調査を行い、漏水が確認された場合は補修を進めていく予定である。

【議案第16号】鯖江市自転車等の放置防止に関する条例の制定について

### 放置自転車防止による交通の円滑化と景観保全

**問** 対応が必要となる放置自転車は、年間で何台程度を想定しているのか。

**答** 年度によって増減はあるが、近年の傾向から年間100台前後を見込んでいる。現在は、防犯登録情報を基に警察へ照会し所有者へ連絡することで、約4～5割は引き取られている。一方、防犯登録がされていない自転車や、所有者から引き取れない自転車は、市が処分している。

**問** 引取りがない自転車はどのように処分しているのか。処分費用や引取り時の保管料の請求は。

**答** 引取りのない放置自転車は、すべて鯖江クリーンセンターに持ち込み、破碎処理を行っている。鉄くずは売却するが、処理費用の方が上回るため、市で負担金を支出している。また、法律上は保管料の徴収が可能であるが、鯖江市では空いている駐輪場を活用して放置自転車を保管しており、追加の保管費用が生じていないため、保管料の請求は行っていない。

## 教育民生委員会

【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算（ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業費 66万3千円／食の自立支援事業費 283万1千円）

### ひとり暮らし高齢者を支える見守り・生活支援事業

**説明** ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業は、70歳以上のひとり暮らし、または高齢者のみの世帯を対象に、民生委員の協力を得て、乳酸菌飲料を持参し、安否確認を兼ねた定期訪問を行う事業である。食の自立支援事業は、在宅のおおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者、または高齢者のみの世帯で、調理が困難と認められる人を対象に、週1回、ボランティアによる配食サービスを行い、あわせて安否確認を行うものである。

**問** 利用実績に合わせて予算を減額しているが、ひとり暮らし高齢者が増加する中で、サービス利用者が減少している要因をどのように分析しているのか。

**答** ひとり暮らし高齢者友愛訪問事業は、民生委員の申請に基づくものであり、乳酸菌飲料の配布件数は減少しているが、飲料を持参せず訪問している民生委員もいるため、訪問活動自体が減少しているわけではないと考えている。食の自立支援事業については、民間の配食サービスが増加していることや、週2回以上のデイサービス利用、親族による支援を受けている場合は対象外となる制度要件があることから、利用が減少しているものと認識している。

**意見** 利用条件が利用者にとってハードルとなっているサービスについては、条件緩和などを検討し、高齢者が地域で安心して住み続けられるよう取り組んでほしい。



【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算（ヤングケアラー支援体制強化事業 464万4千円）

### ヤングケアラー支援体制の強化について

**問** 令和7年度はどのような事業に取り組んできたのか。また、令和8年度の事業の方向性は。

**答** 令和7年度は、ヤングケアラーコーディネーターを中心に、学校と連携しながら支援が必要な家庭の把握や見守りを行ってきた。令和8年度からは、子どもたちがヤングケアラーについて理解を深めるための取組を進めていく。

**問** 具体的にどのような事業を行い、子どもたちにヤングケアラーへの理解を深めてもらうのか。

**答** 高校生がヤングケアラーについて学ぶ機会を設け、その学びを生かしながら、小中学生向けの分かりやすい啓発パンフレットを共に作成することで、正しい理解を広げていく。また、こどもの権利条例の趣旨を踏まえ、ヤングケアラーの疑いがある子どもが「つらい」と感じたときに声を上げられる環境づくりに取り組む。



**問** ヤングケアラー支援はどのように行っていくのか。

**答** 基本的には、こどもまんなか課を中心に支援を行うが、保護者の病気や疾患など家庭の状況に応じて関係部署と連携し、必要な支援サービスの案内などを行っていく。

議案に関する委員会審議

各委員会では、委員会に付託された議案を審議しました。



【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算（学校給食支援事業費 2億8,097万8千円）

学校給食費無償化を踏まえた学校給食支援事業

問 公平性の観点から、アレルギー等により弁当を持参している児童や、学校に来ることができない児童については、どのように支援するのか。

答 弁当を持参している児童や、やむを得ない事情で登校できない児童についても、学校給食費無償化と同等の補助を行う方針である。

問 中学校の給食に対しては、どのような支援を行うのか。

答 物価高騰や人件費上昇により給食費の増加が見込まれるが、保護者負担額を令和7年度と同額に据え置くことで、保護者の負担軽減を図る。

【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算（さばえまちなか芸術祭事業 500万円）

市民参加型芸術祭による交流と魅力発信

説明 西山公園を核に、野外アート作品の展示を中心とした、誰もが参加し楽しめる芸術祭を開催する。国内外で活躍する芸術家や市内の小中学校・高校、文化団体と連携し、表現・鑑賞の場を提供するとともに、新たな表現者の育成を図る。

問 令和8年度は、新たにどのような取組を行うのか。また、事業内容をどのように発信していくのか。

答 市民や県内外から参加者を募り、アーティストと共に作品を創り上げる交流型ワークショップを新たに実施する。ここでしか体験できないアートを通じて、鯖江の魅力を発信し、交流人口の増加や定住促進につなげたい。広報紙や市ホームページ、公式LINEによる周知に加え、SNSを戦略的に活用し、参加者自身が情報発信の担い手となる広がりのある情報発信を進めていく。

【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算（鯖江つつじマラソン実行委員会負担金 650万円）

鯖江つつじマラソンの継続と今後の在り方

問 つつじマラソンについて、コース周辺の市民から道路が使えないなどの意見もある中、今後も現在の形態で継続していくのか。

答 つつじマラソンは、令和8年度で48回目を迎える半世紀近く続く本市を代表するスポーツ行事である。これまで、コース変更や警備体制の強化により、競技中のコース横断を可能にするなど、ランナーの安全確保と通行制限の緩和に努めてきた。今後も地域の声を聴きながら、同様の形で継続していきたい。

意見 大会を継続していく意義は大きいですが、近隣住民からの意見が毎年寄せられている。また、総合体育館や陸上競技場における参加選手の動線も悪く、体育館からスタート地点へ行くためには、コースを横断しなければならず、陸上競技場に入る通路も狭い。今後は従来どおりの運営にとどまらず、新しい視点を取り入れ、より良い大会へとブラッシュアップしていくことも検討すべき。

嚮陽会館複合交流施設整備特別委員会

【議案第3号】令和8年度鯖江市一般会計予算（複合交流施設費 12億2,739万円／公園整備事業費（単独）のうち工事請負費 1億円）

嚮陽会館整備事業における費用と価値の検証について

説明 複合交流施設費のうち工事請負費12億450万円は、令和8年度分の建築工事、電気設備工事、機械設備工事、外構工事など、工事進捗に応じた整備費である。また、委託料2,010万円は、建築事務所に工事監理業務を委託するための経費である。公園整備事業費（単独）の工事請負費1億円は、嚮陽会館整備に併せて実施する駐車場整備に係る令和8年度分の費用である。財源については、一般財源のほか、国の地域未来交付金、県のこどもの遊び場整備事業費補助金、各種事業債を活用する。

問 予算案が認められた場合の工事着工までの流れ、駐車場整備のスケジュールは。

答 4月上旬に入札公告、5月に入札を行い、6月定例会で工事請負契約議案が可決されれば、工事着工となる見込み。駐車場整備は令和8年度から9年度までの2か年で完了予定とし、工事期間中も嚮陽会館前の駐車場は半分程度利用できるよう運用する。ふれあい駐車場は出入口が1か所のため、短期間だが全面使用できない期間が生じる。

問 工事が3か年度にわたる中で、工事費の高騰について現時点での懸念材料はあるか。

答 原油価格の高騰や物価・人件費上昇などの影響は懸念されるが、工期延長により事業費へ影響が出ないよう、事業者や工事監理者と協議し、適切に対応していく。

問 屋上整備について、開館時間の制約やコスト面を考えると、西山公園や道の駅など既存施設を活用すればよいのでは。

答 屋上整備には、次の3つの意義がある。  
①嚮陽会館に新たな価値を創出すること  
②市民活動の広がりが期待できること  
③内外からの集客力向上につながる

問 屋上整備費約6,500万円に加え、維持管理や改修などのランニングコストが発生する中、屋上整備を見直すことで費用削減はできないのか。

答 屋上整備は基本計画・設計段階で市民との対話の中から提案されたものであり、市民の発案をできる限り取り入れたいとの考えによるもの。

問 屋上は将来的に必要となった段階で整備する選択肢もあるのではないかと。

答 屋上整備は約20年前から検討されてきた経緯があり、今回の整備のタイミングで屋上の魅力を発揮できる可能性を残したい。また、水害時の避難場所としての活用も想定している。

意見

・屋上を整備することで、休憩や待ち合わせ、交流の場として活用でき、親子連れの回遊性向上にもつながる可能性がある。こうした可能性を整備しないことで消してしまうのはどうか。

・嚮陽会館複合交流施設整備において、当初から改修と新築を含めた全体事業費の比較や、様々な選択肢を示した議論が不足していたのではないかと。

・屋上を含めた施設全体の魅力ある運営や使い方を検討するとともに、今後も継続したコストダウンの努力を強く要望する。36億円を超える大規模事業であるからこそ、完成後も工夫を重ね、高い買い物だとならないよう、施設に十分な価値を持たせていく努力をこれからしっかりとしてほしい。



請願・陳情の審査

請願・陳情とは？

地方公共団体等に対し、困っていることや意見・要望について、公的な機関へ改善などを要望するよう申し出ることです。議員の紹介がないものを陳情、紹介があるものを請願と呼びます。

■ 陳情第1号 「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の採択を求める陳情書

不採択

付託先：教育民生委員会

**概要** 昨年の診療報酬改定はプラス改定となったものの、物価高騰や人材不足の影響もあり、医療・介護・福祉の現場は依然として厳しい状況にある。特に訪問介護分野では事業所の倒産や閉鎖が相次ぎ、ケア労働者の負担増や離職も深刻化している。地域医療・地域介護を守るため、国に対し、定期改定にとられない報酬見直しと、物価上昇を上回る賃金引き上げを強く求めてほしい。

趣旨採択すべきという意見

ケア労働者の賃金を、物価上昇を上回るように引き上げることは同意する。しかし診療報酬や介護報酬が上がると診察料も上がり、市民の生活に影響が出るおそれがある。よって制度の抜本的な改正が必要である。

不採択という意見

診療報酬、介護報酬の定期的な改定ではなく機敏な改定の場合、現場では処遇改善加算の対応などの膨大な事務作業が発生する。その負担を考えると現実的ではない。

討論

(東井議員)医療・介護現場は物価高騰や人材不足により厳しい状況が続いており、陳情の問題意識は理解できる。特に訪問介護分野では事業所の倒産や閉鎖が相次ぎ、地域医療・介護の維持が課題となっている。一方で、国において報酬改定など一定の対応が進められており、保険料負担への影響も考慮が必要である。以上を踏まえ、本陳情は趣旨採択とすべきと考える。

※本陳情は、まず「趣旨採択」について採決されましたが否決されたので、続いて「採択」について採決が行われました。

	三村尚司	田中良幸	加藤優	土田光	堀川秀樹	西野有香	東井忠義	酒井友季子	林下豊彦	江端一高	大門嘉和	空美英	福原敏弘	佐々木一弥	遠藤隆	帰山明朗	石川修	木村愛子	玉邑哲雄	議決結果
「趣旨採択」	×	○	×	×	×	○	○	○	×	×	○	欠	×	-	×	○	○	○	×	否決
「採択」	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	×	-	×	×	×	×	×	不採択

※佐々木議長は採決に加わっていません。 ○=賛成 ×=反対

ここが聞きたい！  
一般質問



一般質問とは？

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に対して考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができ、内容は自由です。

ページ	質問者	質問内容	日程
P.13	さかい ゆきこ 酒井友季子	1. 5歳児健診とフォローアップ体制について / 2. 産後ケア事業について / 3. 移動期日前投票所および豪雪時の投票環境確保について / <a href="#">4. 財政持続性について</a>	3/2 午前
P.14	かとう まさる 加藤優	<a href="#">1. 小中学校GIGAスクール推進事業について</a> / <a href="#">2. 発達性読み書き障がい(ディスレクシア)について</a> / <a href="#">3. 健康いきいきプランにおける健康づくり計画の進捗と今後の強化について</a>	3/2 午後
	えんどう たかし 遠藤隆	1. 新年度に向けた本市の強みの横展開について / <a href="#">2. 公共施設男子トイレへのサニタリーボックスの設置について</a>	
P.15	きむら あいこ 木村愛子	<a href="#">1. ふるさとさばえに自信と誇りを持てる暮らしについて</a> / 2. ほんのきっかけプロジェクトについて / 3. 地区まちづくり計画について / <a href="#">4. 脱炭素社会の取組について</a>	3/3 午前
	にしの ゆか 西野有香	1. ハラスメント対策について / <a href="#">2. 鳥獣害対策について</a> / 3. 地域人材の活用と教員の働き方改革の推進について / 4. 女性活躍から自分活躍への発展におけるジェンダー政策の深化について	
	はやしした とよひこ 林下豊彦	<a href="#">1. 歩道の除雪について</a> / 2. 部活動の地域展開について / 3. 民生委員と地域包括支援センターとの連携について / 4. 行政の情報発信について	
P.16	だいもん よしかず 大門嘉和	<a href="#">1. 鯖江市におけるスポーツ行政</a> / 2. 神明苑の再整備について	3/3 午後
	ほりかわ ひでき 堀川秀樹	<a href="#">1. 令和8年度予算について</a>	
	かえりやま あきお 帰山明朗	<a href="#">1. 令和8年度当初予算案から</a>	
P.17	たなか よしゆき 田中良幸	<a href="#">1. 嚮陽会館の改修工事について</a> / <a href="#">2. 市内で行われているイベントに対する助成、補助について</a> / <a href="#">3. 鯖江駅からサンドームに至る道路の整備について</a>	3/3 午後
	とうい ただよし 東井忠義	1. 自主財源の確保について / 2. 災害時避難行動支援について / 3. 認知症の人が地域で安心して暮らせるために / <a href="#">4. 嚮陽会館複合交流施設整備事業について</a>	
	ふくはら としひろ 福原敏弘	<a href="#">1. 令和8年度予算編成について</a> / 2. 鯖江市国土強靱化地域計画について	

※質問内容のうち青字で下線が引かれたタイトルは、以下に詳細を掲載しています。

さかい ゆきこ  
**酒井友季子** (ふくいの党・鯖江)





**財政の持続可能性について**

**問** 公共施設更新のピークは。  
**答** 今後5年程度が当面の集中するピーク期である。  
**問** 将来負担は何年スパンで見ているのか。  
**答** 今後30年を対象にシミュレーションをしている。2050年には鯖江市の人口は約59,000人に減ると予測されている。人口減少を前提に市債残高や公債費の推移を注視している。  
**問** 大きな財政判断が今後続いていく局面で、何を優先し、何を見直していくのか、市長の判断基準は。持続可能な財政運営に向けた市長の政治姿勢と覚悟を伺いたい。

**答** 市長 将来に過度な負担を残さないことを軸に、これまで持続可能な財政運営を最優先に考えてきた。「将来どんな鯖江を残していきたいか」が判断基準。  
・市民の皆様に喜んでいただけるか  
・何度も足を運んでいただけるか  
・鯖江市の魅力が高まるか  
という視点が重要であると考えている。事業費増加や財政負担の高まりなど、慎重な財政運営が求められる局面にある中で、痛みが伴う場合もあるかもしれないが、職員と共に知恵を絞り、努力しながら持続可能な財政運営を目指していく。  
**意見** 子どもたちに過度な負担を残さない財政運営こそ、私たち世代の責任。


かとう まさる こうめいとう  
加藤 優 (公明党)



**GIGAスクール推進事業について**

**問** 端末からのデータ漏えい防止は。  
**答** 市教育委員会としても極めて重要な責務であると認識しており、市が主体となってデータを消去し、その後も業者による確実な処理を証明で担保するという二重の安全策を講じることで、児童・生徒の個人情報保護に万全を期していく。  
**問** 発達性読み書き障がい、ディスレクシアについて市の対応は。  
**答** 学校における日頃の授業や学習場面において、読みのつまずきや学習上の困難の様子を丁寧に観察し、必要があると認められる場合には、担任・特別支援コーディネー


えんどう たかし こうめいとう  
遠藤 隆 (公明党)



**男性個室トイレへのサンタリーボックス設置について**

**問** 国立がん研究センターが2025年度にまとめた統計によると、前立腺がんと診断された男性は9万9,000人、膀胱がんは約2万4,000人から2万5,000人以上に上る。これらのがん手術後には、頻尿や尿漏れの症状が起きやすくなる。このため、手術を受けた男性は尿漏れパッドを着用することが多くなる。しかし、公共施設などの男性トイレ個室にはサンタリーボックスの設置が進んでいないのが現状。男性トイレにサンタリーボックスを設置することは、安心して外出できる環境整備であると思うが、市の見解は。

きむら あいこ しみんそうせいかい  
木村 愛子 (市民創世会)



**福祉の相談窓口と脱炭素社会の取組**

**問** 福祉の相談窓口について、新年度から市民生活や福祉に関する相談窓口が一元化されるが、行政に声が届かない、届けられない市民にとって、相談しやすい体制であってほしい。所見を。  
**答** 福祉の相談窓口である社会福祉課の福祉総合相談室と、市民相談窓口であるダイバーシティ推進・相談課を一元化し、くらしと福祉の相談課に改組。相談先が分かりにくいという市民の不安を解消するとともに、相談者の困り事や背景を総合的に把握し、重層的支援体制整備事業の機能を生かし、関係機関やこども家庭センター、庁内各課が横断的に支援会議等で困難を抱える市民の孤立を防ぎ、住み慣れた地域で安心し

ター・管理職等が参加する校内支援会議において、情報共有と対応方針の検討を行っている。

**問** 健康いきいきプランでの喫煙率数値目標について。  
**答** 喫煙率データとして、5年に1回実施される県民健康・栄養調査の数値を用いてきた。そのため、策定時点で利用できた最新データが平成28年と古く、結果として喫煙に関する数値目標を「下げる」といった抽象的な表現にとどめた。まずは次期計画策定に向け、市単独で生活習慣全体を詳細に把握し、令和10年度から14年度までが計画年度となる第8次保健計画では、国・県の目標値も参考にしつつ、実効性のある数値目標に刷新していく。




**答** 男性用サンタリーボックス設置の現状は、市役所庁舎においては、令和3年度から市民の利用頻度が高い1階と2階の男子トイレに設置しているが、この数年、尿漏れパッドが捨てられていることはほとんどない。今後は、利用者に分かりやすい表示方法の工夫を行っていきたく考えている。また、市の公共施設においては、多機能トイレがこれらの課題に対応するものと認識しており、その認知度をさらに高めるよう努めていく。



て自分らしく暮らしていただけるよう、相談を丁寧に受け止め、寄り添っていく。また、専門職による伴走支援や地域の支え合いを推進し、子どもから大人まで地域全体で支え合える支援の仕組みを推進する。

**問** ゼロカーボンシティ宣言をしている鯖江市、脱炭素の取組は。  
**答** 新ごみ焼却施設で、ごみを燃やす際に生じる熱から発電。カーボンフリー電力として利用できるため、市の公共施設29施設で使う電力の実質的な脱炭素化が図れ、年間で約2,200トンのCO<sub>2</sub>削減が見込まれる。脱炭素ロードマップ推進委員会を中心に関係機関と連携を深め、再エネ導入拡大、省エネの徹底など、2050年の実質ゼロ達成に向けて取り組んでいく。  
**意見** 地区まちづくり計画推進のために、地区公民館のコミセン化や集落支援員制度の導入を要望する。


にしの ゆか さばらぼ  
西野 有香 (SABA LABO)



**鳥獣害対策について**

**問** 第3次マスタープランの成果と課題について。集落ぐるみの対策には担い手が不可欠。さばえのけものアカデミーの修了生数と担い手育成の評価は。  
**答** 14年間の修了生は延べ291名。捕獲への従事や行政との連絡役など一定の役割を果たしており成果と認識。一方、新規修了生の減少が課題。現場ニーズに即した実践的内容へ進化させる必要がある。  
**問** 市民アンケートが未実施の理由と今後の効果検証、修了生へのアンケート実施を検討されたい。  
**答** 令和8年度に農業ビジョンのアンケートと合わせて実施予定。定量・定性指標を組み合わせた多面的評価を行い、修


はやした とよひこ しんせいふうかい  
林下 豊彦 (新清風会)



**歩道の除雪について**

**問** 本年1月20日過ぎからの寒波と降雪では、歩道の除雪が間に合わず市民生活に影響があった。現在の歩道除雪を開始する時期や範囲に関する基準では、高齢者や学生の歩行者に対しては十分な安全確保ができていないと思うが、どう考えているのか。  
**答** 今後、通学路や歩行者ネットワークの状況によっては、必要に応じて新たな歩道路線の追加をするなどの除雪体制の強化に努める。また、地域での歩道除雪の機械整備や作業への補助制度の周知を行い、地域の皆様の力を借りながら、歩道除雪に取り組んでいきたい。

だいもん よしかず せいせいかい  
大門 嘉和 (清鯖会)



**中学校の休日部活動の地域展開について**

**問** これまで、学校での部活は教育の一環と捉えられ、必要経費のみの比較的低い費用で活動できた。ところが、休日部活動の地域展開に伴い、年間6,800円負担増となった。さらに、2年生の場合、令和8年度から年間24,800円の負担増になる。休日部活動地域展開に伴う全体の事業費、国・県・市・個人の負担割合とその算定根拠とは。  
**答** 令和8年度の地域クラブ活動費や準要保護家庭への支援など、全体事業費は約4,200万円。そのうちの1,970万円を個人負担とし、残りの2,230万円のうち約1,200万円


了生の意見も政策に反映したい。  
**問** 現場で具体的な対策指導ができる職員数と狩猟免許保持者の状況、今後の方針は。  
**答** わな猟免許取得者は16名で5年前より4名増。猟友会との合同研修や若手育成で体制強化を図る。  
**問** ビジョン統合に当たり、鳥獣害対策の理念と体制をどう引き継いでいくのか。  
**答** 統合は計画体系の整理であり理念・体制の後退ではない。くくり罫導入により、被害額は103万円から約2万円へ大幅減。捕獲を目的化しない総合対策の理念を堅持し、協働体制を深化させる。  
 【その他の質問】※詳細はQRコードから  
 ・ハラスメント対策について  
 ・地域人材の活用と教員の働き方改革について  
 ・女性活躍からジェンダー政策の深化について

**行政の情報発信について**  
**問** 本年1月から福井市で電子回覧板の運用が始まっている。従来の紙の回覧板に加えて電子回覧板でも情報を提供し、住民はどちらか一方を選ぶことができるという。電子回覧板では、アンケートや会合の出席確認、ごみ収集日カレンダーの機能もあり、非常に便利で有効である。鯖江市での情報発信の在り方は。  
**答** 市民の皆様確実に届く情報伝達手段が確立するまでの間は、引き続きホームページ、各種SNS、広報紙の併用をする。緊急時には緊急情報一斉配信メール、広報車など、あらゆる手段を活用していく。市民の皆様確実にかつ迅速に情報が届けられるように研究、検討を続ける。  
**意見** 早急に構築することを強く要望する。

が国・県の補助で、市の負担額は、およそ1,000万円である。  
 本市では、国の調査結果に加え、市が実施した保護者へのアンケート結果を参考にしながら、クラブ運営が持続可能であるとともに、保護者にとって過度な負担とならない水準を基本とし、クラブ運営に必要な費用を積み上げ、事業費の約半分程度を負担いただくこととなった。その結果、クラブ運営費年額6,000円、保険料年額800円、指導者関連費用として月額1,500円と決定した。



ほりかわ ひでき  
**堀川 秀樹** (さばえ結の会)




**令和8年度予算について**

**問** 甲府×鯖江“つくる”プロジェクトについて、全庁横断で多分野にわたり推進するとされているが、どのような取組を考えているのか。

**答** 産官学金言による官民連携を視野に入れて取り組んでいく。ものづくりという両市共通の強みを生かす中で「つくる」をテーマに、商品づくり、きっかけづくり、共感づくり、人づくり、魅力づくりの5つを柱に事業の展開を図っていきたい。



かえりやま あきお  
**帰山 明朗** (無所属の会)




**水道事業、赤字解消へ料金改定を検討**

～老朽水道管40kmの耐震化が急務。料金改定は市民生活への影響を考慮し慎重に議論を～

**問** 本市の水道事業の課題と今後の経営は。

**答** 人口減少や節水機器の普及等による減収と受水費の負担により平成23年度以降は赤字が継続している。また、病院・避難所等へ供給する重要管路の老朽化対策・耐震化を優先して進めているが、約40キロメートルが未整備で今後も多額の費用が必要でその財源確保が急務。令和7年度中に経営戦略等を改定し、令和8年度以降は料金等改定検討委員会を設置して、適正な料金体系の検討や官民連携(ウォーターPPP)の

たなか よしゆき  
**田中 良幸** (創造)



**① 嚮陽会館の改修工事について**

- ② 市内で行われているイベントに対する助成、補助について
- ③ 鯖江駅からサンドームに至る道路の整備について

**【やりとりと意見】**

① 改修費36億円のうち、電気設備、機械設備の費用が11億円、改修費の約3分の1と大きな割合を占める。その理由を問うたが、導入する設備については羅列されたが、個々の予算額については入札前ということで細かい数字の回答は得られず。

**問** プレイヤースクールとは、具体的にどのような取組なのか。

**答** まちづくりの基礎を学ぶ最初の一步講座、広報手法などを習得する実践的な講座、参加者が作成した企画に講師が継続的に寄り添う伴走支援など、多段階の学びを提供する。参加者には、企画づくりから実践、継続へとつながる力を身につけてもらい、将来的には、自らの活動を自走できる人材への成長を目指す。

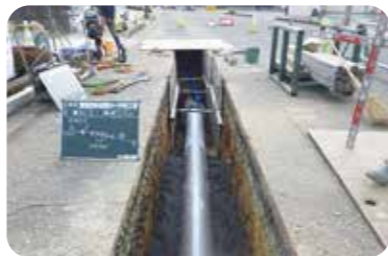
**問** 獣害対策、特にクマ対策についての予算は。

**答** 国が新たに創設した補助制度を活用し、緊急銃猟に必要な安全装備、無線機等の備品整備経費に加え、出没抑制対策として、柿の木などの誘引木の伐採経費を含めて、令和8年度は総額382万円を計上している。

導入可能性調査を進め、経営健全化を図りたい。一般会計に依存しない自立した経営に向けて、必要な財源の確保が大きな課題。

**問** 料金値上げは市民生活に配慮し慎重に行うべきだが。


**答** 現在の物価高騰による市民生活への影響は認識している。安定供給のため経営健全化は不可欠だが、水道料金改定の必要性、時期や内容については、市民負担に配慮し慎重に議論を進める。



② 鯖江に人を呼び込むため市内開催のイベント等に支出した補助金は、昨年は24事業で総額7,191万円余、集客は32万1,000人余との回答。

一方で③については令和6年度にサンドーム福井で行われた公演には県外から約19万人が鯖江を訪れたとの認識。しかし、駅前から南に向かう県道の状況が悪い。10年前の9月議会でも同様の質問が出ているが、整備はいまだ手つかず。県道だから県の責任と手をこまねいているのではなく、まちの印象に大きく関わることなので市単独で整備を急いでは、と提言した。19万人は向こうから来てくれる。その方たちに笑顔になってもらいたい。一方でお金をかけて人を集めても、悪い印象を持って帰ってもらうようなことをしては、「頭隠して尻隠さず」ではないかと。


とうい ただよし  
**東井 忠義** (市政新風会)



**嚮陽会館の屋上はデッキより太陽光発電を**

**問** 嚮陽会館複合化の工事費が、当初24億4,000万円であったのが、次第に膨らみ、最近では36億3,000万円と、1.5倍になっている。さらに子どもの屋内遊び場が整備されるのにと2年半もかかるという。これらのことに市民の不満を聞く。費用がこれだけ膨らむと、無駄を省くことが必要で、少なくとも利用可能日数の少ない屋上整備を止めるべきである。いっそ、屋上にソーラーパネルを設置して自家発電し、電気料を賄ってはどうか。よほどそのほうが先進的である。隣市では体育館の屋根にソーラーパネルを配置して、施設の電力

ふくはら としひろ  
**福原 敏弘** (さばえ結の会)



**令和8年度予算編成について 鯖江の経済振興について**

**問** ものづくり産業の人材確保について。

**答** 若年層の県外流出も相まって、人材確保は一層厳しさを増している。市では学生と市内企業とのマッチング機会の創出、小中学校段階からものづくりに触れるふさと教育の推進、企業訪問を通じたきめ細やかな採用支援に取り組んでいる。外国人材の活用は、FUKUI外国人材受入サポートセンターとも連携しながら、必要に応じて県の支援制度の活用を促すとともに、受入れ環境への支援についても検討している。

**問** 神明地区に点在する眼鏡ファクトリーショップを核に、地域の歴史、文化、食を生かした産業観光エリアの面的整備

を幾らか賄っている。考えは。

**答** 嚮陽会館においても導入の可能性について十分検討した。しかしながら、本施設の屋上に太陽光発電の設備を設置する場合、構造の補強などが追加で生じる可能性がある。また、電気料金の削減効果により初期投資を回収するにはかなりの期間を要すること、さらに設置後において、維持管理費や廃棄処分の課題も想定される。これらを総合的に勘案して、現段階では太陽光発電設備の設置を見送ることとした。

**意見** 隣市は、環境省の補助を受けたそうである。ソーラーパネルについては軽量のものも出てきている。隣市では幾つかの施設で、環境政策におけるゼロカーボンに取り組むシンボリックな政策として導入したそうである。本市も、今後検討されたい。

を推進し、高い技術力の発信と地場産品の認知度向上を図るプロモーション予算について、予算規模とこれまでの成果、今後の取組は。

**答** 神明駅を中心とした半径2キロメートル圏内には、眼鏡のファクトリーショップが8店舗あり、それ以外にも兜山古墳などの歴史、文化資源、多彩な飲食店が集積しているエリア。これらを点から面へと有機的に結び、回遊性を高めることで、産業観光の推進と「めがねのまちさばえ」のブランド力向上を図ることを目的としている。県に採択された事業は、3年間でハードが1億円、ソフトで1,500万円、補助率3分の1。最大事業規模3億円とソフト事業4,500万円といった事業スキームである。令和8年度は、今計上している予算でしっかりと計画を立てながら、令和9年度に向けて整備を進めたいと考えている。

## 本会議をしてみよう!

市役所の議場で

鯖江市議会は、市役所の議場で傍聴することができます。



You Tubeで

YouTubeの鯖江市議会チャンネルで、動画を配信しています。  
\*右のQRコードまたは各議員の質問欄に掲載のQRコードを読み取ることで視聴できます。



こしの都TV9チャンで

こしの都TV9チャン(旧丹南ケーブルテレビ)で生中継・録画放送を行っています。



会議録で

鯖江市議会の会議録検索ページから、会議録の閲覧ができます。  
\*掲載までに時間がかかる場合があります。順次掲載いたしますので、ご了承ください。

議案と議決結果

議案番号	件名	議決結果
【2月18日提出・2月18日議決】		
議案第10号	令和7年度鯖江市一般会計補正予算(第9号)	可決
議案第11号	令和7年度鯖江市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	//
議案第12号	令和7年度鯖江市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	//
議案第13号	令和7年度鯖江市水道事業会計補正予算(第3号)	//
議案第14号	令和7年度鯖江市公共下水道事業会計補正予算(第2号)	//
議案第25号	東陽中学校空調設備整備工事(建築工事)請負契約の締結について	//

【2月18日提出・3月19日議決】		
陳情第1号	「地域医療・介護を崩壊させないために機敏な診療・介護報酬改定を求める意見書」の採択を求める陳情書	不採択
議案第3号	令和8年度鯖江市一般会計予算	可決
議案第4号	令和8年度鯖江市国民健康保険事業特別会計予算	//
議案第5号	令和8年度鯖江市後期高齢者医療特別会計予算	//
議案第6号	令和8年度鯖江市介護保険事業特別会計予算	//
議案第7号	令和8年度鯖江市水道事業会計予算	//
議案第8号	令和8年度鯖江市公共下水道事業会計予算	//
議案第9号	令和8年度鯖江市農業集落排水事業会計予算	//
議案第15号	鯖江市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	//
議案第16号	鯖江市自転車等の放置防止に関する条例の制定について	//
議案第17号	鯖江市監査委員条例の一部改正について	//
議案第18号	鯖江市部設置条例の一部改正について	//
議案第19号	鯖江市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	//
議案第20号	鯖江市税条例の一部改正について	//
議案第21号	鯖江市介護保険条例の一部改正について	//
議案第22号	鯖江市火入れに関する条例の一部改正について	//
議題第23号	鯖江市水道事業の設置等に関する条例および鯖江市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	//
議案第24号	鯖江市幼稚園設置および管理に関する条例の一部改正について	//

【3月19日提出・3月19日議決】		
議案第26号	鯖江市教育委員会教育長の任命について	同意
議案第27号	鯖江市教育委員会委員の任命について	//
市会案第1号	市長専決事項の一部改正について	可決
市会案第2号	議案第3号 令和8年度鯖江市一般会計予算に対する修正案	否決



謹んでお悔やみ申し上げます

末本幸夫議員が2月10日逝去され、  
2月18日の本会議にて玉邑哲雄議員が追悼の辞を述べました。

鯖江市議会議員 末本幸夫君の急逝の報に接し、深い悲しみを覚えるとともに、鯖江市議会議員を代表し、謹んで哀悼の誠を捧げます。

あなたは、去る2月10日、天上に旅立たれました。昨年末ごろから、体調を崩されていたことは知っていましたが、あまりにも突然の訃報に、私たちは今なお驚きを隠せません。

長年、議会活動を共に続けてきたあなたの存在が、こうして急に失われたことは、議会はもちろん、市民の皆さまにとっても大きな衝撃であり、深い悲しみであります。

本日、第455回鯖江市議会定例会が開催されました。いつもあなたが座っておられた私の左隣、19番の議席には、あなたのお姿はなく、改めてあなたを失った現実を痛感いたします。目を閉じれば、在りし日のあなたのお姿が、今なお鮮やかに思い起こされます。

顧みますと、あなたは平成11年に鯖江市議会議員として、初当選以来、連続7期26年余にわたり、鯖江市政の発展と市民生活の向上に尽力してこられました。この間、平成25年7月から2年7か月にわたり議長を務められたほか、副議長、議会運営委員長、建設委員長などの要職を歴任され、持ち前の温厚で篤実なお人柄と、豊かな見識によって大いに活躍されました。

あなたは、常に地域の声に耳を傾け、地域の現場に足を運び、地域の方々と同じ目線で考え、「鯖江のために、できることを一つひとつ」という誠実な姿勢を決して崩すことはありませんでした。弱い立場におかれた方々に対し、常に真摯に寄り添ってこられた、あなたのその歩みは、これからも私たちの道しるべとして心に生き続けることでしょう。

また、あなたは、地域のシニア世代の健康増進を高め、交流を深めてもらおうと、ゲートボールやマレットゴルフ、グラウンドゴルフの普及にも、並々ならぬ情熱を注いでこられました。世代を超えて誰もが気軽に参加できる場づくりに尽力され、地域の結びつきを深める大きな役割を担ってこられたことは、多くの市民がよく知るところであります。

これからまさに、あなたの温かなまなざしと行動力が一層求められる大切な時でありましたが、その矢先の急逝は惜しんでもなお余りあり、志半ばでの旅立ちは、ご自身にとってもさぞかし無念であったのではないのでしょうか。ご遺族の深いご心痛を思うと、慰めの言葉も見つかりません。

今、改めてあなたのお人柄とご功績を胸に刻み、ご遺志が必ずや実を結びますよう、鯖江市の発展のため、私たち議員一同、力を合わせて努めてまいりますことをここにお誓い申し上げます。どうかこれからも、天上より我ら鯖江市議会を、そしていつまでも鯖江市のことを変わらず見守りくださいますようお願い申し上げます。

哀悼の意は尽きませんが、心よりご冥福をお祈り申し上げます。  
以上、鯖江市議会議員を代表し私からの追悼の言葉といたします。



市民と議員のおしゃべり会を開催します!

※キッズスペースあり  
※事前申込み不要

7月11日(土)	19:30~20:30	新横江公民館 立待公民館 河和田公民館	7月26日(日)	10:00~11:00	片上公民館 豊公民館
				19:30~20:30	北中山公民館
7月12日(日)	10:00~11:00	中河公民館	おしゃべりに来てね~		
	19:30~20:30	鯖江公民館 吉川公民館			
7月18日(土)	19:30~20:30	神明公民館			



## 【次回】6月定例会日程（予定）

日付	会期日程	こしの都 TV9 チャン放送予定
5月26日（火）	10時 本会議（提案理由説明）	生放送（※093ch）
28日（木）		18時 再放送（5/26 本会議分）
6月8日（月）	10時 本会議（質疑、一般質問）	生放送（※093ch）
9日（火）	10時 本会議（一般質問）	生放送
10日（水）	10時 本会議（一般質問）	生放送
11日（木）	9時30分 常任委員会	
12日（金）	9時30分 常任委員会	
19日（金）	10時 本会議（委員長報告、採決）	生放送
23日（火）		18時 再放送（6/8 本会議分）
24日（水）		18時 再放送（6/9 本会議分）
25日（木）		18時 再放送（6/10 本会議分）
26日（金）		18時 再放送（6/19 本会議分）

※進行状況により時間の変更が生じる場合があります。※委員会の放送はありません。

## あなたの写真で表紙をかざってみませんか

あなたの写真が表紙になります！鯖江市内で撮影された素敵な写真をご応募ください。表紙に採用された方には、素敵な商品（地場商品など 5,000 円相当）をプレゼント！

- 応募する写真 … 鯖江市内で撮影された人物・風景・行事などの写真  
 応募方法 … QRコードから必要事項を入力してご応募ください  
 次号の応募締切 … 令和8年7月12日（日）



応募フォーム

次号(8月25日発行)にぴったりの夏らしい写真をお待ちしています。



特別賞 樋紀信さん



夢々 斐智さん



クレープ大好きさん

### 編集後記

まもなく梅雨から夏へ。この夏から最高気温が 40℃以上を超える日を「酷暑日」といいます。生命の危険を感じる言葉です。今から暑さ対策を万全にしていましょ。

同じあつさでも議会・委員会では、「市民にとっての最善は！」と熱い議論が行われています。

一度、皆様、議会の傍聴にお越しくください。お待ちしております!!

広報委員 加藤 優

今号は3月定例会の内容を掲載しており、発行時の状況と一致しない場合があります。